

二松学舎大学大学院 国際日本学研究科主催シンポジウム
アートをめぐるモビリティ：人・モノ・情報のネットワーク

【趣旨】

アートを取り巻く人とモノと情報のあり方の変容と現状を、「モビリティ」をキーワードとして思考します。地方芸術祭やアーティスト・イン・レジデンスは何を移動させ、何をその場所で引き起こすのか、ミュージアムグッズがミュージアムの外に運び出すものとは何か、一人の美術家をめぐる調査とアーカイヴ構築、展覧会キュレーションは、いかなるモビリティの中にあるのか——それぞれのフィールドで活躍する3名の研究者にして実践者がアプローチします。

【登壇者】

- ・西尾美也（美術家・ファッションデザイナー、東京藝術大学准教授）
- ・大澤夏美（ミュージアムグッズ愛好家・博物館学研究、北海道大学大学院博士後期課程）
- ・足立元（美術史・社会史研究、二松学舎大学准教授）
- ・堀野正人（観光社会学・都市観光論研究、二松学舎大学教授）
- ・小澤京子（視覚文化論・芸術学研究、二松学舎大学教授）

【プログラム】

- （12:30- 開場）
- 13:00-13:05 開会の辞 堀野正人（国際日本学研究科長）
- 13:05-13:20 趣旨説明 小澤京子（企画者）
- 13:20-14:00 西尾美也「身体・役割・流通のモビリティとしての装い：地方芸術祭・AIRにおける関係構築と衣服をめぐる循環」
- 14:00-14:40 大澤夏美「境界を越える「モノ」：ミュージアムグッズは、体験をどこへ運んでいるのか」
- 14:40-15:20 足立元「リサーチ・キュレーション・アーカイヴのモビリティ：望月桂調査団のはなし」
- （15:20-15:40 休憩）
- 15:40-16:00 コメント 堀野正人
- 16:00-16:55 総合討議
- 16:55-17:00 閉会の辞 五月女肇志（文学部長）

【会場へのご来場方法】

二松学舎大学 九段キャンパス 1号館：東京都千代田区三番町 6-16

地下鉄メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分

JR「市ヶ谷」「飯田橋」駅下車、徒歩15分

会場には駐車場がありませんので、お車での来場はご遠慮ください。